

「市民企画会議」「日本全国幸町プロジェクト」

～ # 幸町でつながろう！～ 幸町市民センター×宮城野区中央市民センター

1 事業概要

「幸せな町になってほしい」との願いが地名にこめられた「幸町」の地域を知り、他地域の「幸町」とつながるために企画員が会議を重ねてきました。令和5年度は自分たちの地域を知ろうと活動してきましたが、令和6年度は、他地域とつながるための方法を学び、他地域とつながり、地域の魅力を発信し、地域活性化を図ることを目的として事業を展開しました。



2 令和6年度の活動



「幸町」の魅力を発信するために、SNSによる情報発信方法について、インスタグラマーとして活動している青沼彩織氏から学びました。自分たちが推す「幸町」のスポットを写真で撮影した際、写真の見栄えがよくなるように「#幸町♡gram」というオリジナルフォトフレームを制作しました。「幸町」の魅力をまとめたガイドマップ作りも進行中です。また、企画員の自宅の裏庭にトレイルカメラを設置して撮影した野生動物を撮影・編集しました。「#幸町♡gram」のフォトフレームを使用した写真とトレイルカメラの

映像は、幸町市民センターふれあいまつりに展示して、大変好評でした。また、幸町中学校区エリアが鳥の形に似ていることから、中学生の企画員が白鳥をモチーフにしたオリジナルキャラクターを考案し、「#幸町」の活動を盛り上げているところです。

3 成果と課題

当初SNSによる発信を目指したものの、市民センターとして発信することには制約が多く、すぐにとりかかることはできませんでした。しかし、自分たちですぐできることとして「#幸町♡gram」のフォトフレームを使用した幸町の魅力を市民センターまつりで展示するなどの活動とおし、メンバー同士結束を高めることができました。現在作成中のガイドマップは、紙面に載せる情報をより魅力的なものにするため、メンバー内で時間をかけて内容を精査している最中です。



4 今後の展望

最終目標として、「幸町」の魅力を他地域に発信し、「幸町」地域の活性化を目指しています。令和7年度も、SNSによる情報発信を目指しながら、ガイドマップを完成させたいと考えています。さらに、ガイドマップを地域の小学生や住民に紹介する案や、「幸町」の魅力をカルタや紙芝居にして紹介するという案も出ており、「幸町」がさらに幸せな町になるように地域の魅力を発信する活動に取り組んでいきたいです。

